

RYOBI®

スチーム洗浄機

SJC-16

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みください。

また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。



もくじ

・安全上のご注意	1
・各部の名称	6
・仕様・用途・付属品	7
・使用準備	8
・使用方法	14
・点検と整備	20
・保管	21
・故障かなと思ったら	21

△ 警告

14. 次の場合は電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。
 - ・使用しない、または、修理する場合。
 - ・刃物、といし、ビットなどの付属品を交換する場合。
 - ・その他危険が予想される場合。
15. 調節キーやレンチなどは、必ず取外してください。
 - ・電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取外してあることを確認してください。
16. 不意な始動は避けてください。
 - ・電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
 - ・プラグを電源に差込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
17. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
 - ・屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
18. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。
 - ・電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周囲の状況など十分注意して、慎重に作業してください。
 - ・常識を働かせてください。
 - ・疲れている場合は使用しないでください。
19. 損傷した部品がないか点検してください。
 - ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - ・可動部分の位置調整、および締付け状態、部品の破損、取付状態、その他運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - ・損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
取扱説明書に指示されていない場合は、お買上げの販売店、またはリョービ販売営業所に修理を依頼してください。
スイッチが故障した場合は、お買上げの販売店、またはリョービ販売営業所で修理を行なってください。
 - ・スイッチで始動、および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。
20. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
 - ・本取扱説明書、およびリョービカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のもを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがありますので、使用しないでください。
21. 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。
 - ・本製品は該当する安全規格に適合していますので、改造しないでください。
 - ・修理は必ずお買上げの販売店、またはリョービ販売営業所にお申し付けください。
修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じて、しゃ音壁を設けるなどしてください。

● スチーム洗浄機ご使用上のご注意

先に一般工具として共通の注意事項を述べましたが、スチーム洗浄機として、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

△ 警 告

ご使用前は

1. 本機に水をかけたり、雨中で使用しないでください。またぬれた手で、電源プラグや延長コードに触れないでください。
 - ・感電の恐れがあります。
2. 一般家庭用（单相・交流100V）以外の電源は、使用しないでください。
 - ・100Vを超える電圧で使用すると、過負荷による発熱、火災の原因になります。
3. 定格15A以上のコンセントを単独で使ってください。
 - ・他の器具と併用すると、分岐コンセントが発火炎上する場合があります。
4. 感電防止のため、必ずアース線を接続してください。
 - ・火災防止のため、アース線はガス管、燃料配管に絶対に接続しないでください。
5. 延長コードを使用する場合は、必ず許容電流15A以上のコードをご使用ください。
 - ・許容電流の小さなコードを使用するとコードが異常発熱を引き起こし発火する場合があります。
6. コードリールをご使用になる場合には、必ず全てのコードを引き出した状態でご使用ください。
 - ・巻いた状態で使用した場合は異常発熱を引き起こし発火する場合があります。
7. 溶剤、洗剤は入れられません。
 - ・洗剤を入れた場合は爆発する可能性があります。間違っって入れてしまった場合には水道水で十分にすすいでください。
8. ノズルの詰まり、スチームホースの損傷がないか確認してください。

ご使用中は

9. 噴射の方向に人・動物・植物などがいないことを確認してから作業してください。特に温度の低いものや高いものにも当てないようにしてください。
 - ・ガンのノズルからは非常に高温のスチームが噴出され、火傷などの原因になり危険です。
10. スチーム温度を確かめるため、噴射しているスチームに手を当てることは絶対にしないでください。
 - ・非常に高温のスチームが噴出しているため火傷の原因になります。

△ 警告

11. スチームの出口をふさいだり、本機を何かで覆ったり、障害物を置かないようにしてください。
 - ・オーバーヒートする恐れがあります。
12. ガンのレバーを、ひもや針金で固定して使用しないでください。
 - ・とっさの時に噴射を停止することができず、けがの原因になります。
13. アクセサリーの交換時、作業を中断し機械から離れる場合には、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - ・誤ってガンのレバーを握るとけがの原因になります。
14. 洗浄対象物の耐熱温度を必ず確認してください。
 - ・木の表面、ニス塗り仕上の商品等、デリケートな表面については長時間スチームをあてないでください。
15. 電気炊飯器等の家庭用電気製品、ソケットや配電盤等の電氣的接触物を洗浄しないでください。
16. 運転中に異常音、振動、悪臭などが発生した時は、直ちに使用を中止してお買い上げの販売店、またはリョービ販売営業所に修理を依頼してください。
 - ・そのまま使用しているとけがや故障の原因になります。
17. ボイラーキャップを外したり、給水する場合は、温度表示器の指針がイエローの領域にあることを確認してから行なってください。
 - ・ボイラーの温度が高い状態（温度表示器の指針がグリーンまたはレッドの領域）では、スチームや熱湯が噴き出す恐れがあります。
18. ボイラーキャップを外したり、給水する場合は、顔など肌の露出した部分を給水口に近づけないでください。
 - ・ゴム手袋を着用してください。

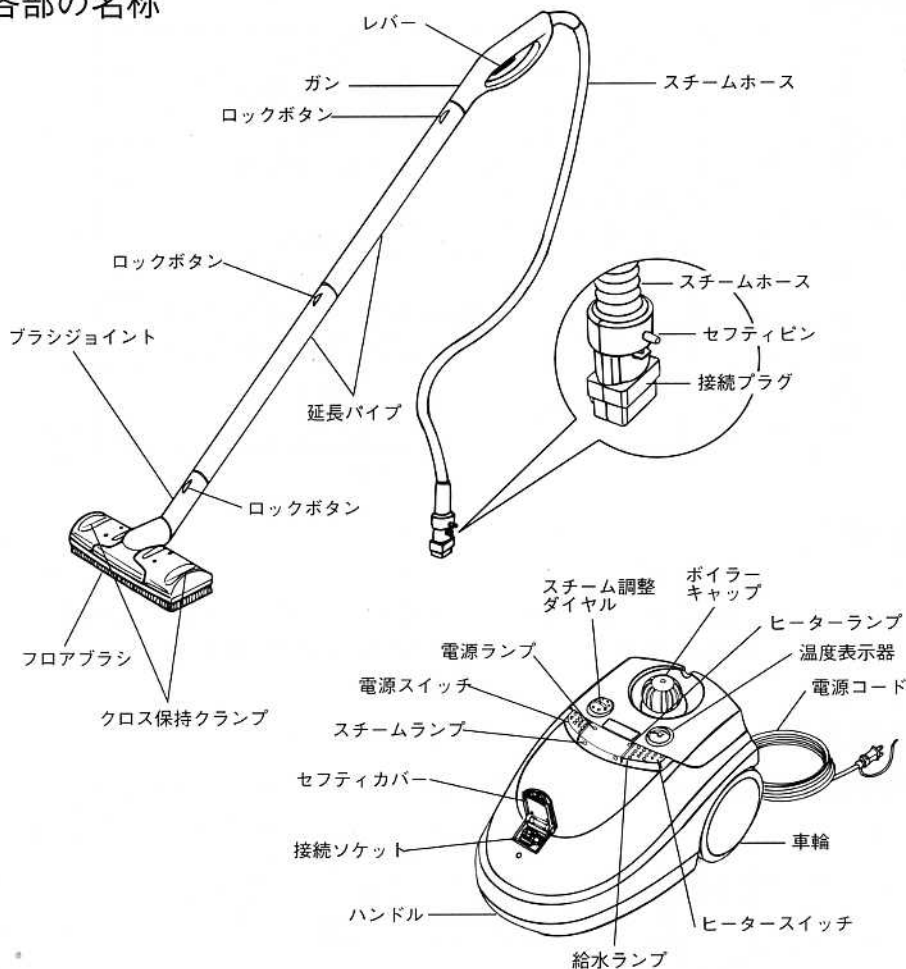
ご使用後は

19. 作業終了後はヒータースイッチを切り、ガンのレバーを引き圧を抜いてください。圧力が残っているとガンからスチームが噴出されけがの原因になります。
20. 使用後、または停電の時、点検整備する時、長時間離れる時には必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

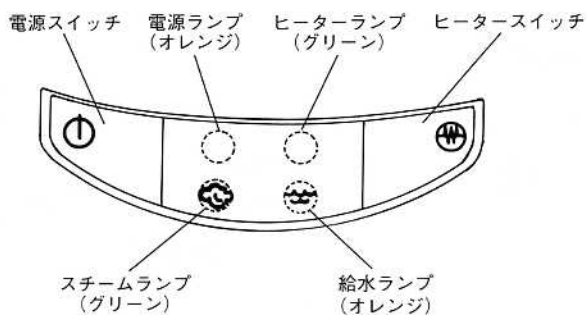
△ 注意

1. 本機は水のかからない、水平で安定した場所に設置してください。
 - ・故障の原因になります。
2. 本機を誤って落としたりぶつけたりしないでください。故障の原因になります。
 - ・落としたりした場合は、本機に異常がないか確認した後、使用してください。
3. 凍結から本機を守るために、0℃以下になる場所には保管しないでください。
 - ・水が凍り、故障の原因になります。
4. 給水は水平な場所に本機をおいて行ってください。
 - ・規定水量以上（1.6ℓ以上）は給水しないでください。

■各部の名称



コントロールパネル部



■仕様

型 式	SJC-16	
電 源	単相交流50/60Hz	
電 圧	100V	
規 定 水 量	最低0.5ℓ、最高1.6ℓ	
スチーム	タンク内加熱温度	143℃
	タンク内圧力	400KPa
消 費 電 力	1,500W	
加 熱 時 間	約17分(水温15℃、水量1.6ℓ時)	
機 体 寸 法	長さ460×幅330×高さ260mm	
重 量	5.1kg	
コ ー ド 長 さ	3芯・2m	

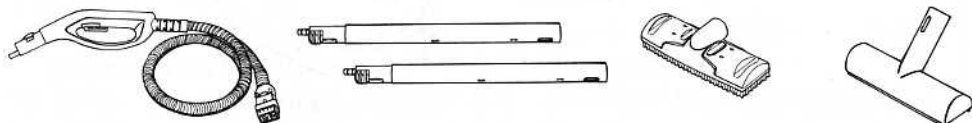
■用途

- ・タイル目地の汚れ落とし。
- ・カーペット、畳の清掃、殺菌作業。
- ・エアコン、換気扇の洗浄。
- ・窓ガラス、鏡、ガラスドアの洗浄。
- ・厨房関連機器の洗浄、殺菌等。

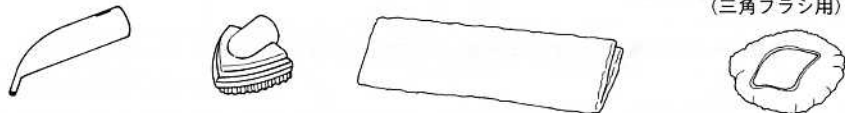
■付属品

●通常付属品 (箱を開けましたら、以下のものが揃っているかよくお確かめください。)

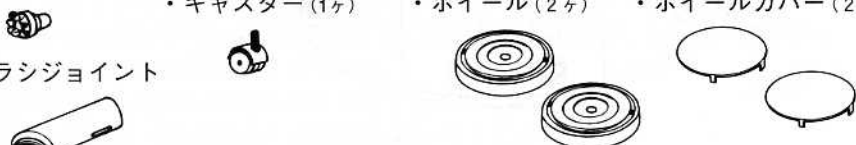
- ・ガン(ホース付1.6m)
- ・延長パイプ(2本)
- ・フロアブラシ
- ・窓用ノズル



- ・ベントノズル
- ・三角ブラシ
- ・保護クロス(フロアブラシ用)
- ・木綿キャップ(三角ブラシ用)



- ・丸ブラシ(小)
- ・キャスター(1ヶ)
- ・ホイール(2ヶ)
- ・ホイールカバー(2ヶ)



- ・ブラシジョイント



■使用準備

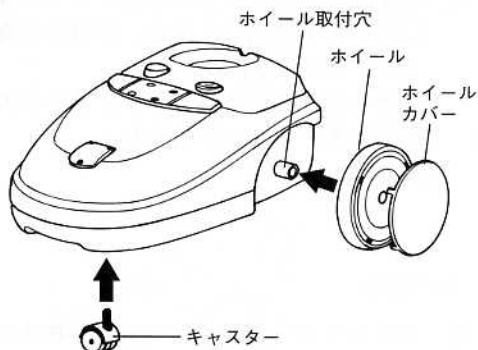
●付属品の取付け、取外し

△ 警告

- ・塗れた手で作業しないようにしてください。
- ・付属品を交換する時は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

●キャスターとホイールの取付け

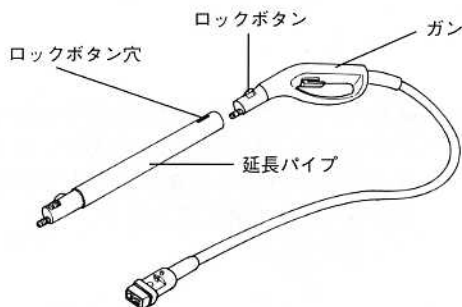
1. キャスターの脚を、本体底面のキャスター取付穴に、確実に止まるまで差込んでください。
2. ホイールの軸を、本体後部側面のホイール取付穴にロックがかかるまで確実に差込んでください。
次に、ホイールの4ヶ所の穴にホイールカバーの爪を合わせ、差込んでください。
左右同じように取付けてください。



●延長パイプの取付け、取外し

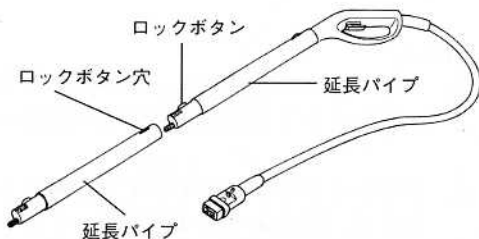
取付け

1. ガン上部のロックボタンと延長パイプのロックボタン穴位置を合わせ、ロックボタンがカチッと音のするまで延長パイプを差し込んでください。
2. 延長パイプを2本接続する場合は、同様に延長パイプ上のロックボタンに位置合わせのうえ、延長パイプを差し込んで接続してください。



取外し

1. ロックボタンを押さえ、延長パイプを引き抜いてください。

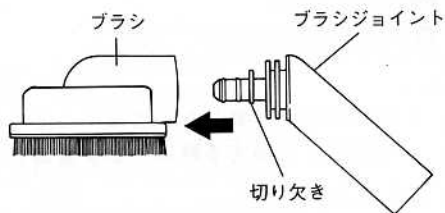


● ブラシの取付け、取外し

フロアブラシまたは三角ブラシを使用する場合は、最初にブラシジョイントを組付けする必要があります。

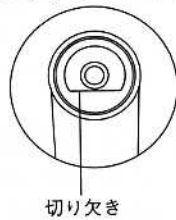
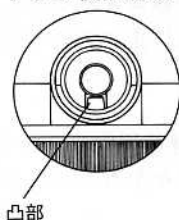
取付け

1. 右上図のようにブラシジョイントの開口部側を下に向けたまま、ブラシの奥まで完全に差し込みます。ブラシ側の凸部とブラシジョイントの切り欠きを合わせてください。

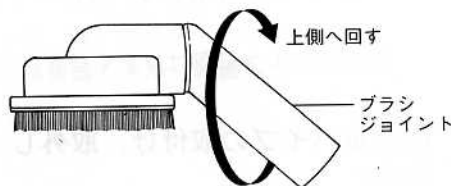


・ ブラシ側接続部

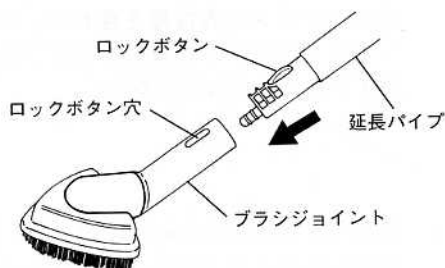
・ ブラシジョイント側



2. ブラシジョイントがブラシから抜けないようにブラシジョイントを回転させます。

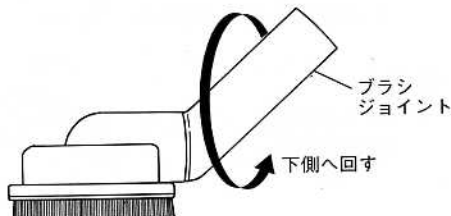


3. 延長パイプのロックボタンとブラシジョイントのロックボタン穴を合わせ、ロックボタンがカチッと音のするまでブラシジョイントを差し込みます。



取外し

1. ロックボタンを押さえ、ブラシをブラシジョイントごと引き抜いてください。
2. ブラシとブラシジョイントを分離するときは、図のようにブラシジョイントの開口部を下へ回し、引くと、ブラシからブラシジョイントが抜き取れます。



●保護クロスを取付け

△ 警告

- ・ クロスを交換する時は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・ クロスは洗浄中は熱くなりますので、交換時は注意してください。

保護クロスは洗浄対象物に傷がつくのを防止します。

フロアブラシ、三角ブラシを使用の際は保護クロスを取り付けてご使用ください。

汚れたクロスは洗濯機で洗えば繰り返しご使用いただけます。

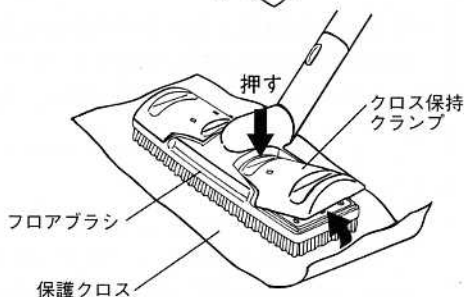
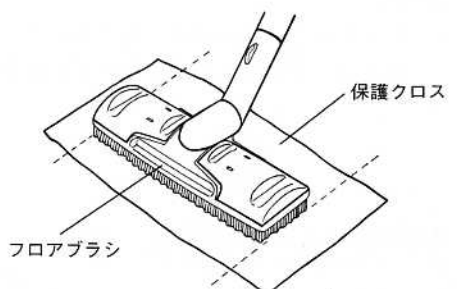
●フロアブラシ

1. 平らな面に保護クロスを置いてください。

2. フロアブラシを保護クロスの中央に置いてください。

3. クロス保持クランプの図の位置を指で押さえ、保護クロスの両方の角をクロス保持クランプの下にはさみます。

4. 同様にもう一方のクロス保持クランプの下に保護クロスを入れてクロス保持クランプから手を離します。



●三角ブラシ

1. 木綿キャップを三角ブラシにかぶせます。



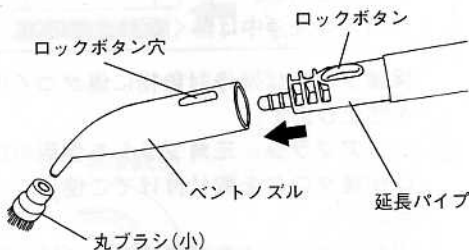
●丸ブラシ(小)の取付け、取外し

△ 警告

- ・丸ブラシ(小)は、必ずベントノズルと共に使用してください。

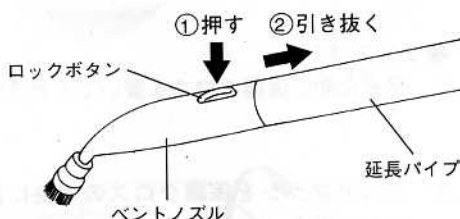
取付け

1. ベントノズル先端に丸ブラシ(小)を取付けてください。
2. ベントノズルのロックボタン穴をガンもしくは延長パイプのロックボタンに合わせ、ロックボタンがカチッと音のするまでベントノズルを差し込みます。



取外し

1. ロックボタンを押さえ、丸ブラシ(小)をベントノズルごと引き抜いてください。



●窓用ノズルの取付け、取外し

△ 警告

- ・スチーム噴射によるガラスの急激な温度変化は、ガラス破損の恐れがあります。外気の温度が0℃前後の場合は、窓ガラスから少なくとも20cm以上離れたところからスチームを薄くかけるようにし、その後に、ガラス表面全体にスチームを吹き付けてください。

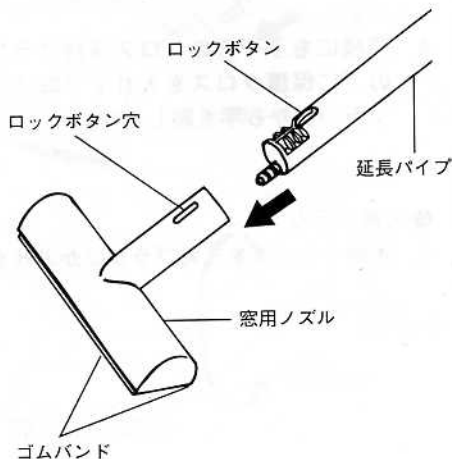
取付け

1. 窓用ノズルのロックボタン穴をガンもしくは延長パイプのロックボタンに合わせ、ロックボタンがカチッと音のするまで窓用ノズルを差し込みます。

取外し

1. ロックボタンを押さえ、窓用ノズルを引き抜いてください。

注) 大変汚れた窓の洗浄は、先に大小のブラシとクロスにより洗浄してください。その後、窓用ノズルで洗浄してください。



洗浄後、きれいな布を使って窓用ノズルのゴムバンドからゴミを取り除いてください。

きれいな良く伸びるゴムバンドによってのみ、縞模様にならない窓の洗浄ができます。

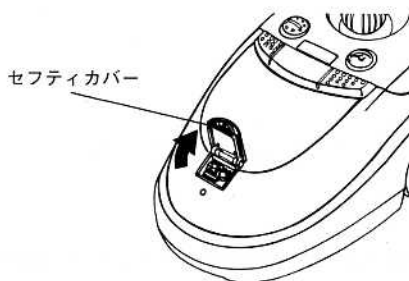
● スチームホースの取付け、取外し

△ 警告

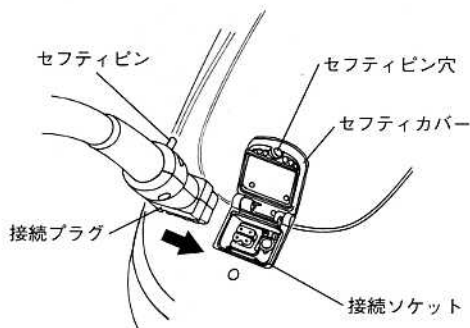
- ・ スチームホースと電源コードが良好な状態であることを確認してください。
- ・ 付属品を交換する時は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・ 乾いた手で作業してください。

取付け

1. セフティカバーを持ち上げ開きます。

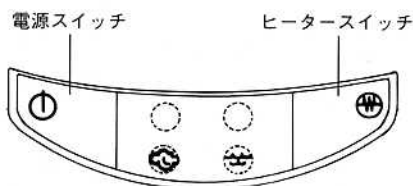


2. 接続プラグの向きを確認し、接続プラグを接続ソケットに押し込みます。
3. セフティピンをセフティカバーのセフティピン穴にはめ込んでください。セフティピンが確実に固定されていることを確認してください。



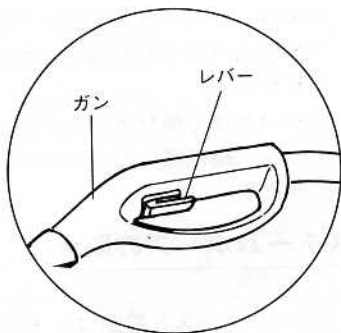
取外し

1. ヒータースイッチを押してOFFにしてください。

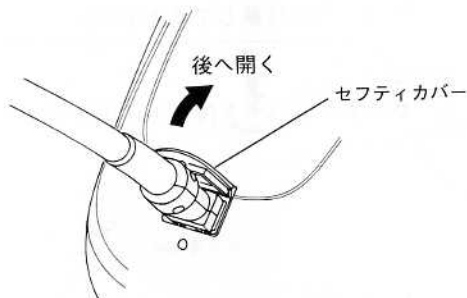


2. ガンのレバーを押して、スチームが完全に外に出てしまうまで押し続けてください。

3. 電源スイッチを押してOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。



4. セフティカバーを後側に開き、セフティピンを穴から外します。



5. 接続プラグを接続ソケットから引き抜いてください。



■使用方法

△ 警告

- ・噴射の方向に人・動物・植物などがいないことを確認してから作業をしてください。
- ・スチーム温度を確かめるため、噴射しているスチームに手を当てることは絶対にしないでください。
- ・スチームの出口をふさいだり、本機を何かで覆ったり、障害物をおかないようにしてください。
- ・ガンのレバーを、ひもや針金で固定して使用しないでください。
- ・一般家庭用（単相交流100V）以外の電源は使用しないでください。

●給水

△ 警告

- ・ボイラーに水を入れる前に、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・通常の水道水が蒸留水のみを使用してください。
- ・使用前にボイラーのボイラーキャップが正しく閉じられているか確認してください。

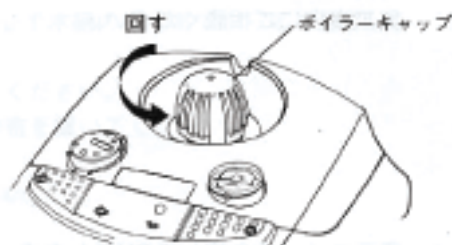
△ 注意

- ・給水は水平な場所に本機をおいて行ってください。規定水量以上（1.6ℓ以上）は給水しないでください。

1. ボイラーキャップを完全に外れるまで反時計方向に回してください。

2. ボイラーに適量の水（規定水量、最低0.5ℓ、最高1.6ℓ）を入れてください。

3. ボイラーの給水口にボイラーキャップを置き、時計方向に回して、しっかりと締めてください。



●電源の接続

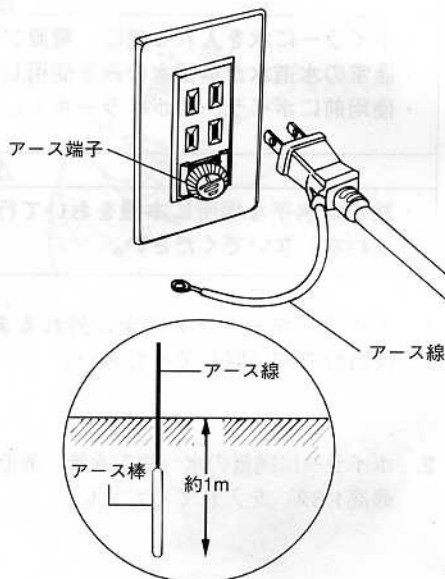
△ 警告

- ・一般家庭用（単相交流100V）以外の電源は使用しないでください。
- ・プラグをコンセントに差し込む前に電源スイッチとヒータースイッチはOFFにしてください。
- ・延長コードを使用するときは、アース線を備えた3芯コードを使用してください。
- ・アース線のない2芯コードですと感電の原因になります。
- ・電源コードは破損がないか確認してください。
- ・ボイラーには規定水量（0.5ℓ～1.6ℓ）の水を入れておいてください。
- ・スチームホースには必要な付属品を先に接続しておいてください。
- ・スチームノズルは塞がないようにしてください。

1. 電源プラグを一般家庭用（単相交流100V）の電源コンセントに差し込んでください。

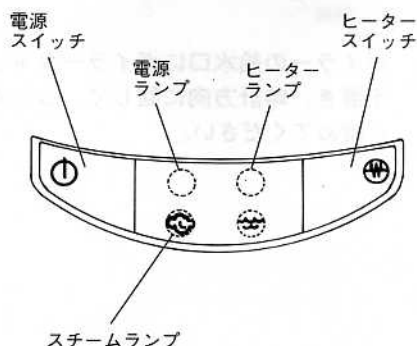
感電事故防止の為、ご使用に先だち必ず接地（アース）してください。接地する場合はコード端にあるアース線を使用してください。

アース棒やアース板を地中に埋込み、アース線を接続する電気工事は電気工事士の資格が必要です。最寄りの電気工事店にご相談ください。



2. 電源スイッチを押してONにします。オレンジの電源ランプが点灯します。
3. ヒータースイッチを押してONにします。グリーンのヒーターランプが点灯します。
4. ヒーターが作動し、水が熱せられます。
5. グリーンのスチームランプが点灯するとスチームが発生する状態になり準備完了です。

最大給水時（1.6ℓ時）のヒートタイムは約17分です。



●スチーム洗浄作業

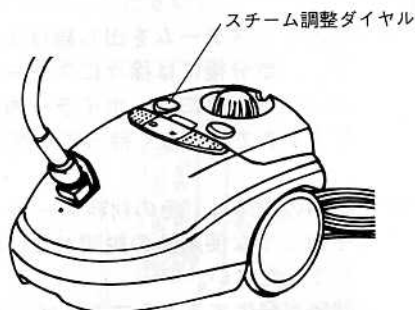
△ 警 告

- ・一般家庭用（単相交流100V）以外の電源は使用しないでください。
- ・プラグをコンセントに差し込む前に電源スイッチとヒータースイッチはOFFにしてください。
- ・電源コードは破損がないか確認してください。
- ・ボイラーには規定水量（0.5ℓ～1.6ℓ）の水を入れておいてください。
- ・スチームホースには必要な付属品を先に接続しておいてください。
- ・スチームノズルは塞がないようにしてください。

- 注)・連続してスチームを出し続けると、スチームの噴出量に対して補充量が不足し、数分後には徐々にスチーム量が少なくなってきます。スチーム量を回復させるためには、ボイラー内にスチームが補充され、スチームランプが点灯するまでしばらく待ってください。
- 注)・材料の洗浄は、その材料メーカーの使用法の説明に従ってください。
そのような使用法の説明がない場合は、まず見えにくい小さな部分で試してみてください。
問題が発生するようであれば、スチーム洗浄機の使用はひかえてください。
- ・必ず推奨のアクセサリーを使用してください。
 - ・引っかき傷を防止するために、ブラシには必ず木綿の布をあてがってください。
 - ・垂直面の場合は必ず上から下へと作業してください。
洗浄する面には汚れを集めるために不要の布を置いてください。
 - ・延長パイプは必要な時だけ使用してください。
 - ・スチームは一時に狭い範囲にかけた方が汚れが溶けやすく除去が簡単です。
 - ・非常に取れにくい汚れの場合は、スチーム噴射を直に当ててください。
 - ・装飾家具やカーペットから汚れを落とす場合は、汚れにスチームを吹き付けて、その表面上に三角ブラシを押さえずに優しく動かしてください。
そしてその表面が乾いた時に汚れが落ちているか確認してください。
充分汚れが落ちていない場合は、この手順を繰り返してください。

注)・木等、デリケートな表面については、スチームを少し当てて、直ぐに乾かしてください。

- ・吸湿性の高いものは、変形の恐れがありますのでひかえてください。
- ・カーペットの場合は、まず掃除機で清掃してからスチーム洗浄機を使用してください。
- ・洗浄をおこなう時や、長い休憩の後は、スチームを少し布にスプレーし、スチームホース内に水が残っていないか確認してください。
- ・洗浄の作用はスチームの量によって決まります。
ブラシに加える圧力によるものではありません。

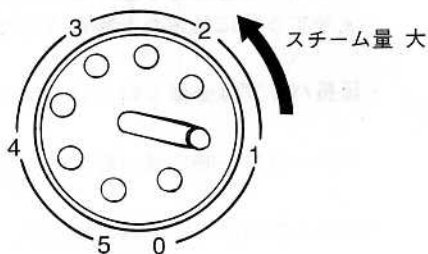


1. 洗浄対象物の汚れの度合いにより、スチーム量調整のダイヤルを回してください。
0→5になるに従ってスチーム量が多くなります。

2. ガンのレバーを引きブラシを洗浄対象物に均等に押さえつけて動かしてください。

3. 汚れが落ちにくい場合は、ブラシに力を入れずに少しこすってみてください。

4. 溶けだした汚れは、ウエス等不要な布で拭き取ってください。



●水の補給

△ 警告

- ・ボイラーに水を入れる前に、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・通常の水道水が蒸留水のみを使用してください。
- ・ボイラーキャップを外したり、給水する場合は、温度表示器の指針がイエローの領域にあることを確認してから行なってください。ボイラーの温度が高い状態（温度表示器の指針がグリーンまたはレッドの領域）では、スチームや熱湯が噴き出す恐れがあります。
- ・ボイラーキャップを外したり、給水する場合は、顔など肌の露出した部分を給水口に近づけないでください。また、ゴム手袋を着用してください。
- ・使用前にボイラーのキャップが正しく閉じられているか確認してください。

△ 注意

- ・給水は水平な場所に本機をおいて行なってください。規定水量以上（1.6ℓ以上）は給水しないでください。

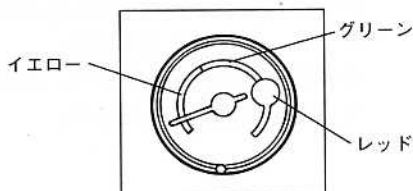
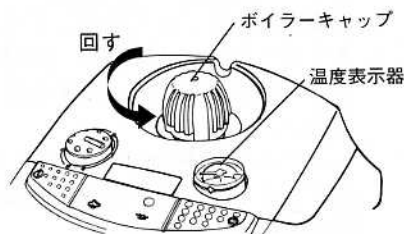
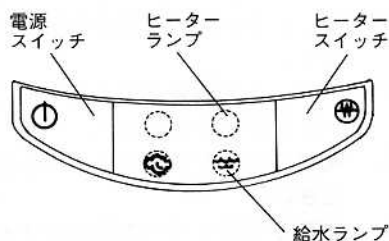
ボイラーの水がなくなったら、オレンジの給水ランプが点灯します。

引き続き使用される場合は下記の手順に従って水を補給してください。

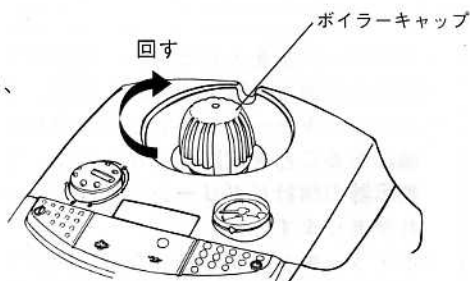
1. ヒータースイッチを押してOFFにしてください。
グリーンのヒーターランプが消灯します。
2. スチームが完全に外に出てしまうまでガンのレバーを引き続けてください。
3. 放置してボイラーの温度が下がるまで待ちます。温度表示器の指針がイエローの領域にあることを確認してください。
4. 電源スイッチを押してOFFにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。
5. ボイラーキャップを完全に外れるまで反時計方向に回してください。

注) ボイラーの温度が高い状態でボイラーキャップを外したり、給水をした場合に、給水口から熱湯、スチームが噴き出すことがあります。

注) 本機はボイラー内部の圧力が規定値より高い場合、ボイラーキャップが空回りして、外せなくなります。
ボイラー内の温度が下がり、圧力が低くなるまで待ってください。

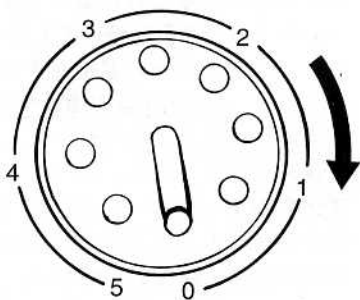
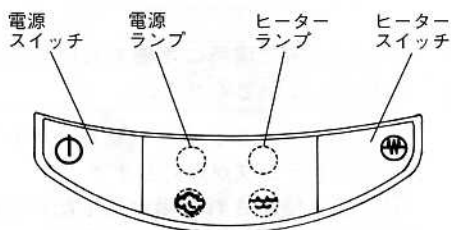


6. ボイラー内に湯が残っている場合には、熱湯に注意して、機械を立て残った湯を捨ててください。
7. ボイラーに適量の水（規定水量 最低0.5ℓ、最高1.6ℓ）を入れてください。
8. ボイラーの給水口にボイラーキャップを置き、時計方向に回して、しっかりと締めてください。



●終了

1. ヒータースイッチを押してOFFにしてください。グリーン色のヒーターランプが消灯します。
2. スチームが完全に外に出てしまうまでガンのレバーを引き続けてください。
3. 電源スイッチを押してOFFにしてください。オレンジ色の電源ランプが消灯します。
4. スチーム量調整ダイヤルを右にいっぱいまで回してください。
5. 電源プラグをコンセントから抜いてください。
6. 放置してボイラーの温度が下がるまで待ちます。温度表示器の指針がイエローの領域にあることを確認してください。
7. ボイラーキャップを外し、熱湯に注意して、機械を立て残った湯を捨ててください。
8. スチーム洗浄機が十分に冷えてから、清掃しボイラー内が十分に乾燥した状態で保管してください。



注) 本機はボイラー内部の圧力が規定値より高い場合、ボイラーキャップが空回りして、外せなくなります。ボイラー内の温度が下がり、圧力が低くなるまで待ってください。

■点検と整備

△ 注意

- ・保守点検や機械の清掃時には、必ず電源コードを抜いてください。

●ボイラーの清掃

- ・湯あかがたまるのを防ぐために、ひと月に一回はボイラーに水を入れ、軽く振って内部を清掃した後、空にする操作をしてください。

ボイラーキャップを外し機械を縦に置くだけで空にできます。



●各部の取付ネジの点検

- ・ネジなどのゆるみがないか確認してください。

もしゆるみがある場合は、締め直してください。

●使用後の手入れ

- ・油污れなどを拭き取り、使い易い状態にしておいてください。

乾いた布か石鹼水を付けた布で本体を拭いてください。

- ・ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本体を傷めます。
また、水洗いは絶対にしないでください。

●修理について

- ・本機は厳密な管理の元で製造されています。

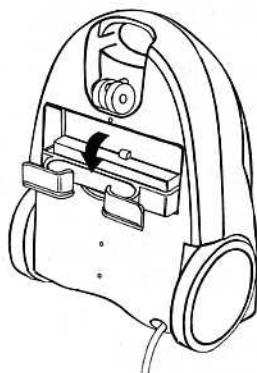
もし正常に作動しなくなった場合には、お買い上げの販売店にご用命ください。
その他、部品のご入用の場合、あるいは取り扱い上ご不明の点、ご質問などご遠慮なくお問い合わせください。

■保管

●作業後の保管

- ・高温にならない乾燥した場所に保管してください。
- ・お子さまの手の届く範囲や、落下の恐れがある所は避けてください。
- ・保管時は本機を縦に置いてください。
電源コードについては本体底部に巻き取り用フックが収納されていますので引き出して利用してください。
- ・また、フック部には、延長パイプが収納可能です。

*運転の際は、折りたたみ、本体底部へ収納してください。



■故障かなと思ったら

●故障かなと思われましたら、次のチェックリストに添って点検を行ってください。

症 状	原 因	処 置
スチームが出ない	接続プラグの接続が正しくできていない。	接続プラグが接続ソケットに正しく接続されているか確認してください。
	電源スイッチが入っていない。	電源スイッチを押してONにしてください。
	スチーム調整ダイヤルが「0」の位置になっている。	スチーム調整ダイヤルを「1」～「5」に調整してください。
	付属品に詰まり等がある。	付属品をチェックしてください。
スチームが接続部分からもれる	ボイラー内の水がない。 (給水ランプが点灯)	水を補給してください。
	付属品が正しく接続されていない。	付属品の接続を確認。 ロックボタンがカチッと音のするまで差し込む。
ボイラーキャップが外れない	接続プラグ、スチームホース等の損傷。	部品を交換してください。
	ボイラー内部の圧力が高い。	ボイラー内の残留圧力を全て抜く。

●これらのチェックを行っても正常に作動しない場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所にご相談ください。

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明の点があった場合には、ご遠慮なくお買上げの販売店、またはリヨービ販売営業所にお問い合わせください。

*改良のためお断りなく仕様、外観等を変更することがあります。

リヨービ販売株式会社

本 社 〒468-8512
名古屋市天白区久方1-145-1
TEL.(052)807-1600 FAX.(052)807-1606